

# ヶ祭りを開催しました。



中央区ブーケ祭り実行委員会の皆さん

男女共同参画週間（6月23日～29日）にあわせて開催される「中央区ブーケ祭り」。11回目となる今年も、「笑顔つながり・仲間」をテーマに、6月22日、23日に開催されました。

会場となった女性センター「ブーケ21」では、31の参加団体による展示やワークショップ、パフォーマンスなど日ごろの活動成果が発表され、1400人を超える来場者でにぎわいました。

23日に企画された「さをり織り」では、朝から次々と来場者たちが織り続け、閉会のときには、5.2メートルを超える見事な「さをり織り」ができました。大きな歓声と拍手につつまれました。



中央区ブーケ祭り実行委員会

“あなたの笑顔を見せてください”  
笑顔の写真やイラスト・コメントを貼って「笑顔の木」を作りました。完成は表紙をご覧ください。  
(中央区ブーケ祭り実行委員会企画)



盆踊りなどを披露しました。(音和会)



さまざまな和紙を展示しました。  
(中央区環境保全ネットワーク)



健康食品や放射能などについて展示しました。  
(中央区消費者友の会)



「希望の歌～交響曲第九番～」などを披露しました。  
(アンジェロ)

## デモンストレーション



「マザーグース」などを朗読しました。  
(朗読ボランティアグループわかはや会)



オープン粘土による作品を展示しました。  
(くまちゅ〜クラフト)

桜川屋上公園自然観察会  
22日は雨の中、23日はお天気の中で  
行いました。  
(中央区ブーケ祭り実行委員会企画)



桜川屋上公園自然観察会



# 第11回 中央区ブー

## 展示コーナー

エガリテ
銀座育成婦人会
中央区消費者友の会
中央区女性史勉強会
中央区女性ネットワーク
中央区婦人学級連絡会
(社)東京建築士会 女性委員会
東京都下水道局桜橋第二ポンプ所
中央区社会福祉協議会「ファミリー・サポート・センター」
エコ・ビーイング
カトレアグループ
かな書道を親しむ会
傾聴ボランティアグループうさぎの会
新日本婦人の会中央支部 女性の地位向上委員会
中央区環境保全ネットワーク
中央区つつじ会
東京木目込人形
日本橋モラロジー事務所
人形教室みやび会
京橋防火女性の会 (23日(土)のみ)
くまちゅ〜クラフト (23日(土)のみ)
中央区女性海外研修者の会
中央区保健係
中央区女性センター
友好支援コーナー
オスビーの会
中央区社会福祉協議会「さわやかワーク中央」
パフォーマンスコーナー
音和会 (22日(金)のみ)
朗読ボランティアグループわかはや会(22日(金)のみ)
アマービレ (23日(土)のみ)
アンジェロ (23日(土)のみ)
エーデルワイスの会 (23日(土)のみ)
吟友会 (23日(土)のみ)
朗読の会 (23日(土)のみ)
茶友倶楽部 えん (23日(土)のみ)

順不同



「密相」、「鯉のぼり」などを群読しました。  
(朗読の会)



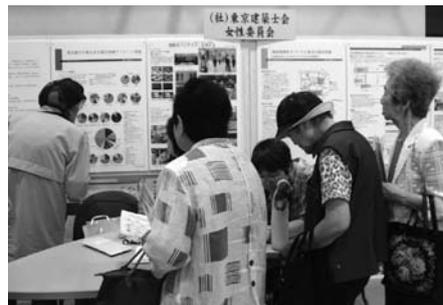
傾聴ボランティアについて紹介しました。  
(傾聴ボランティアグループうさぎの会)



女性団体のネットワーク活動を展示しました。  
(中央区女性ネットワーク)



男女共同参画に関する学習と活動内容を展示しました。  
(エガリテ)



東京建築士会と女性委員会の活動を紹介・展示しました。  
(社)東京建築士会 女性委員会



活動内容の展示や折り紙・楊枝入れ作りを行いました。  
(中央区婦人学級連絡会)

## 事業協力スタッフ レポート

### 参加者のみんなで作った 世界にひとつだけの布

色とりどりの糸が飾られ、会場に花を添えていたのが、さをり織りのコーナーです。「江戸川子どもおんぶず」のスタッフの方々に教えていただきながら、参加者が好きな糸を選んで自由に織り、世界にひとつしかない作品を作りました。縦糸は子育て、介護、防災等、横糸は男女共同参画に見立てられています。横糸にはさまざまな素材、色、太さの糸や短かい余り糸までもが使われ、仕上がりは予測不能。布が織りあがっていく過程は、性別、年齢、国籍等を問わず、いろいろな人々が参加・協力して子育てや介護を行なう男女共同参画のあり方を表しているようでした。

事業協力スタッフ 協坂文栄



パネル木目込み、子ども木目込みなどを展示しました。  
(東京木目込人形)



活動内容の展示や手芸の指導をしました。  
(銀座育成婦人会)

人と人とのつながりを大切に

## さまざまな地域活動に尽力

銀座育成婦人会 前会長

### 渡邊うた子さん



#### 地域活動への参加

生まれは長野県の上諏訪ですが、昭和28年にお見合いで結婚をし、歌舞伎座のそばにある夫の家に嫁いできました。

家族は夫の両親やきょうだいも一緒に住む大家族でした。義父は、町会活動に熱心な人でしたが、「女は外に出るもんじゃない」という考えでしたので、最初は銀座育成婦人会の活動も会費を払うだけの会員でした。私自身、子育てや家の手伝いが忙しかったので特に不満はありませんでした。ところが、昭和46年に少年補導員というお話があり、子どもたちも思春期になっていたので、義父も「勉強したほうがよい」と承諾し、お引き受けすることになりました。以来、少年補導員は20年間続けました。外に出るようになってからは、

青少年対策委員会、町会、民生・児童委員、選挙管理委員等々、次々に活動のお声がかかりました。一度お引き受けしたものは、すべて責任をもって一生懸命に取り組んできました。施策の勉強をしたり地域の課題を考えたりしながら今日まで続けています。

#### 地域活動と家庭との両立

活動を始めたころは、まだ40代の初めでしたので家事や子育てなど家庭との両立にも努力しました。また、義母が家事などを引き受けて私の活動を応援してくれました。ありがたかったですね。晩年、義母が亡くなるまでの4年間、しっかりととお世話をしたので、今でも親孝行ができてよかったです。地域活動を通じて外とつながりを保てたこともよかったです。

#### 地域に望むこと

60年間銀座に住み、地域を感じることが、やはり人と人とのつながりが希薄になったことです。昔は家の外に出れば誰かしらと顔を合わせる機会がありました。今は集合住宅が増えたり、外で働く人が増えるなどで、人が地域に出てこなくなりました。お年寄りも若い人も、もっと地域に出て声をかけあつてほしいと思います。

#### たくさんのお会いとつながり

地域活動を通してたくさん魅力的な女性たちに出会いました。たてのつながりもありましたし、横のつながりもできました。そうした中で中央区に女性センターをつくるという動きにも参加しました。皆で署名を集めて、平成5年、女性センター「ブーケ21」の開館に至りました。

40年以上にわたり地域活動を続けられたのは、自分のため、地域のため、そして関わる人全てとのつながりに楽しさを見出していたからです。たくさんのお会いとつながり、それが私の人生をつくっていると思います。

#### 報告 「中央区男女共同参画推進委員会委員」が決まりました。

平成24年6月1日から2年間の任期で、18名の方々が中央区男女共同参画推進委員会委員に就任されました。

委員会は学識経験者、女性団体、各種団体からの代表者、公募区民、行政職員で構成されています。任期中、区の男女共同参画推進施策について、随時ご意見をいただきます。

◎袖井 孝子（お茶の水女子大学名誉教授）  
◎竹信三恵子（和光大学教授）

細谷 実（関東学院大学教授）

河合 初美（中央区婦人学級連絡会総務部長）

青木真知子（中央母の会副会長）

神田 良子（中央区女性海外研修者の会会長）

三田富貴子（中央区女性ネットワーク会長）

田野美栄子（中央区青少年委員会委員）

松本 孝子（京橋地域民生児童委員協議会副会長）

篠原 良子（中央区社会福祉協議会ボランティア）

五十嵐義幸（連合東京中央区協議会議長）

遠藤 彬（東京商工会議所中央支部役員）

藤丸 麻紀（公募区民）

前田 佳美（公募区民）

八巻心太郎（公募区民）

小野由美子（月島第三小学校校長）

影山 忠男（東京都労働相談情報センター所長）

島田 勝敏（中央区総務部長）

◎会長 ◎副会長 敬称略

中央区・東京商工会議所中央支部主催

迫りくる介護リスクを見逃すな！  
経営者・担当者のための

## 介護対策セミナー

講師 新田香織さん

(社会保険労務士  
ワークライフバランスコンサルタント)



7月27日(金)、中央区役所8階

との説明がありました。

大会議室で、経営者、人事労務担当者や労働者などを対象とした介護対策セミナーが開催されました。高齢化が進む中、社員に老親の介護が必要になったとき、会社はどう対応していけばよいでしょうか。仕事と介護の両立の現状と動向や企業の対策と先進事例等についてお話しいただきました。

こうした中で、会社は介護を抱える社員の状況を把握し、介護に関する悩みを知った上で、両立支援の取り組みを行う必要があること、また、支援には経営陣や管理職層の理解と参加が重要であると指摘されました。

最初に、データから、老親の介護者の約4割を40代、50代の働き盛りが占めていること、また、共稼ぎ世帯の増加や未婚率の上昇などにより、親の介護に関わる人数

が減り、子ども一人あたりの負担は増大する一方である



が減り、子ども一人あたりの負担は増大する一方である

最後に、仕事と介護の両立支援は、40代、50代の中核を担う社員の退職を避けなければならぬこと、介護しながら働くことを受容する職場であることが社員のロイヤリティを高め、最終的には優秀な人材確保につながると総括されました。

### 募集

ワーク・ライフ・バランス  
推進企業とアドバ  
イザー派遣の募集

#### ◆推進企業募集

仕事と家庭の両立支援や男女がともに働きやすい職場の実現に向けてワーク・ライフ・バランスの取り組みを推進している中小企業等を認定しその取り組みを広く紹介します。

●対象 区内に事務所を置き、常時雇用する従業員の数が三百人以下の企業、一般社団法人、一般財団法人等

●募集期間 10月1日(月)から1月18日(金) (必着)

●認定時期 平成25年2月予定

#### ◆アドバイザー派遣募集

ワーク・ライフ・バランスに今後取り組みたい、または取り組みをさらに向上させたい企業には専門のアドバイザーを派遣し、取り組みへの支援を図ります。

●支援内容 長時間労働削減や有給休暇取得促進のアドバイス他

●締切 12月26日(水) (必着)

●費用 無料

詳しくは11ページの申込・連絡先までお問い合わせください。

### 募集

女性のための再就業支援講座  
輝く女性のための  
ハッピーキャリアアカレージ

いますぐ働きたい方もじっくり準備してから働きたい方も、一緒にこれからの仕事と人生のことを学びましょう。全6回のセミナーを通じて、自分の望みどおりの再就職を成功させるために必要な知識と自己表現力、自己演出力を身につけます。なお、希望するセミナーのみの参加も受け付けます。

●日時内容等 別表のとおり

●会場 女性センター「ブーケ21」

●講師 キャリアコンサルタント 栗原知女さん

●対象 区内在住の女性(優先)、その他関心のある女性

●定員 50名(先着順)

●費用 無料

※応募方法・託児は11ページの申込方法・連絡先を参照の上お問い合わせください。

第1回 9月13日(木)	ブランクなんて、こわくない 専業主婦のブランクを乗り越えて再就職を成功させる方法
第2回 9月27日(木)	自分に合う働き方を見つける ワーク・ライフ・バランスを考え、自分に合う働き方を見つける
第3回 10月11日(木)	合格する! 履歴書・経歴書の書き方 自分のセールスポイントを見つけ、応募書類を作って売り込む
第4回 10月25日(木)	面接で「選ばれる人」になる秘けつ 企業の採用担当者に聞く「選ばれる人はココが違う」
第5回 11月8日(木)	働く女性のマネー大作戦! 「ライフ&マネープラン」保険と年金、労働法のポイントを学ぶ
第6回 11月22日(木)	ビジネス常識のリハビリをする! コミュニケーションスキルを磨き働き続けるための実力をつける

●時間はいずれも午前9時30分～正午

## 報告

### パパと子どものお菓子教室 パパと一緒にお菓子を作ろう!

8月18日(土)、東京聖栄大学の吉田光一さんを講師に迎え、区内在住のお父さんとお子さんが教室に参加しました。

はじめに先生がレクチャーを交えながらパンナコッタとウインドー・トーストを作り、その様子をお父さんやお子さんが身を乗り出しながら熱心に聞いていました。続いて実践です。初めて料理をするお子さんはお父さんと一緒に包丁や火を使って取り組みました。パンナコッタの仕上げでは、皆が思い思いに果物を散りばめ、さまざまなおソースをかけて、個性溢れるお菓子ができました。



最後に先生が、「食べることは一生の付き合いですから、食べ物の内容や食材を考えて食べてみてください。今日から親子の会話に取り入れてみてはいかがでしょうか」とお話しされました。お子さんは残り少ない夏休みの中で、良い思い出がまた一つできたようでした。



## 報告&募集

### 中央区女性史年表作成講座

「女性史年表作成講座」は、女性史研究家の江刺昭子さんにご指導いただき、全24回、2年間にわたる講座です。中央区における女性を中心としたできごとについて資料収集やそのまとめ方について学び、「中央区女性史年表」の完成を目指します。

対象となる年代は、明治、大正、昭和です。これまで、資料の種類、検索方法、資料の用い方等を学び、指定された資料から項目を選んで文章にする練習をしてきました。

今年度の後半は、引き続き受講者の作成した年表に添削を交えながら書き方を指導していただくとともに、女性を中心とした歴史の流れや活動を理解するために、近現代女性史通史のお話しもしていただきます。来年度は、「社会一般の動き」年表も作成しながら、「中央区女性史年表」を作成します。

途中からの参加も可能です。皆さまのご参加をお待ちします。

#### ●今年度後半の日程

9月 4日(火)	10月 2日(火)
10月 30日(火)	11月 20日(火)
1月 15日(火)	2月 5日(火)
3月 19日(火)	

時間はいずれも午後6時30分～8時30分

江刺昭子さん



## 報告&募集

水曜イブニングトーク  
平成24年度のテーマ  
災害への備えと復興―私たちに何が出来るか  
第3回「日本の台所、築地市場と東日本大震災」

8月1日(水)、今年度3回目となる水曜イブニングトークが開催されました。ゲストは築地で働く女性たちが東日本大震災で被災した方々を支援するために立ち上げたチーム「Womenの皆さんです。仮設住宅に住む方々が「わが家の食卓」を再生できるように、食器や台所用品等を集めてお送りした活動などについてお話しいただきました。

今回は10月3日(水)、「震災救援活動を通じて育まれた絆〜人間力が問われる震災支援の現状〜」と題して、中央区に住むママ仲間の呼びかけから始まった、支援活動の様子をお話しいたできます。



チーム Tsukiji Women、右から石橋利至子さん、福田享子さん、大森良美さん



## 募集

区民事業協力スタッフ企画講座  
いざというときに備えて  
女性のための防災力アップ講座



東日本大震災直後から被災地で女性支援活動を行っている五十嵐ゆかりさんから、いつ来るかわからない災害に備えて、女性の視点からの防災対策や

避難所での過ごし方、心構えについて学び、あなたの防災力をアップさせませんか。

●日時 10月13日(土)  
午後2時～4時

●会場 女性センター「ブーケ21」

●講師 聖路加看護大学助教  
五十嵐ゆかりさん

●対象 区内在住・在勤在学者(優先)、その他関心のある方

●定員 40名(先着順)

●費用 無料

※応募方法・託児は11ページの申込方法・連絡先を参照の上お問い合わせください。

## 募集

中央区男女共同参画  
リーダー研修の参加者募集  
(日帰りバス研修)

地域における男女共同参画を推進するため、団体指導者の育成を目的として視察等の研修を実施します。女性団体の横断組織である中央区女性ネットワークとの共催で行います。是非ご参加ください。

●日時 10月24日(水)

●午前8時区役所前出発

●午後6時30分区役所前解散  
●区内在住・在勤・在学の方で地域団体に活動している方または今後活動したい方

●定員 40名(先着順)

●交通機関 大型観光バス

●費用 無料。ただし、昼食代等実費相当分(2,500円)をご負担いただきます。

- 訪問先および内容  
東慶寺（駆け込み寺の歴史や当時と現代の女性についてご住職さんのお話）
- 鎌倉文学館（文学界で活躍した女流作家についてのお話と施設見学）

- 神奈川県立かながわ女性センター（女性センターとしての30年のあゆみのお話と施設見学）

- 事後研修  
日時 11月7日（水）午後6時30分  
会場 女性センター「ブーケ21」
- 締切 9月28日（金）（必着）

- 主催 中央区女性ネットワーク・中央区  
※応募方法は11ページの申込方法・連絡先を参照の上お問い合わせください。

## 募集 おやじのがんばり ～子育て編～

ダウン症の子どもの誕生と療育、父母の介護など、次々と厳しい状況乗り越える中で、生活の工夫と改善の知恵、自らの生きていく力を身につけられた講師の赤堀三代治さんから、その体験を交えながら父親の役割についてお話をいただきます。

- 日時 11月10日（土）  
午後2時～4時

- 会場 女性センター「ブーケ21」
- 講師 ARMS代表/コンプライアンス・リスク管理アドバイザー 赤堀三代治さん

- 対象 区内在住・在勤・在学者（優先）、その他関心のある方
- 定員 60名（先着順）
- 費用 無料

## 募集 男女共同参画セミナー 仕事と家庭の両立支援！働く女性と労働法セミナー

東京都労働相談情報センターと共催でセミナーを実施します。

- 日時内容等 別表のとおり
- 会場 中央区役所8階 大会議室
- 講師 社会保険労務士 横山玲子さん

- 対象 労働者、その他関心のある方
- 定員 80名（先着順）
- 費用 無料

※応募方法は11ページの申込方法・連絡先を参照の上お問い合わせください。または「TOKYOはたらくネット」ホームページからもお申込みいただけます。

TOKYOはたらくネットホームページ <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/>

日時	内容
10月18日（木） 午後6時30分～8時30分	「女性が働く上で知っておきたい労働法」
10月19日（金） 午後6時30分～8時30分	「出産・育児・介護の場面で使える社会保険制度」

### 申込方法

電話またはファクスで受付けます。（電子申請も可）

- |           |       |
|-----------|-------|
| ①講座名など    | ③〒・住所 |
| ②氏名・ふりがな  | ④年齢   |
| ④電話番号     | ⑤年齢   |
| ⑥託児希望の場合  |       |
| ア お子さんの氏名 | ウ 年齢  |
| イ ふりがな    |       |

●電子申請の場合は、区のホームページからお申込みください。

### 申込・連絡先

女性センター「ブーケ21」内  
総務部総務課女性施策推進係  
TEL 5543-0651  
FAX 5543-0652  
<http://www.city.chuo.lg.jp/>

## お知らせ 女性に対する暴力をなくす運動 パネル展

毎年、11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では、運動期間を中心に、左記の会場で女性に対する暴力の防止を呼びかける啓発パネル展を行います。このパネル展では、暴力撲滅を願う「パープルリボンの木を咲かそう！」も実施します。皆さんも是非ご参加ください。

「パープルリボンの木を咲かそう！」参加方法  
展示会場の「パープルリボンの木」の絵の上に、「リボン」シールを一枚貼ってください。多くの方のご理解とご参加をお願いいたします。



- パネル展示日程  
区役所1階 11月12日（月）から21日（水）
- 日本橋区民センター 11月22日（木）から11月28日（水）
- 月島区民センター 11月29日（木）から12月5日（水）
- 女性センター 11月12日（月）から12月27日（木）

「パープルリボン・プロジェクト」は、私たちの社会、「コミュニティ、学校、家庭からDVや虐待など個人の間に起きている暴力をなくすための啓発運動です。」

1994年、アメリカ・ニューハンプシャー州のベルリンという小さな町で始まったパープルリボン・プロジェクトは、今では、40カ国以上の国とアメリカ全州に広がり国際的なネットワークに発展しています。

この運動は、「暴力や虐待のない世界にしたい」というシンボルとして、紫色のリボンを衣服などにつけることで、自らの意思表示とするものです。

## 「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者や恋人からの暴力DVをはじめ、女性のさまざまな悩みに専門相談員がお応えします（費用無料）。お気軽にご相談ください。

電話相談  
（予約不要）

●毎週月曜日に電話による女性相談窓口  
相談電話番号（予約不要） **03-5543-0653** 10:00～16:00  
（ただし祝日、年末年始を除く）

面談相談  
（予約制）

毎月 第1・5水曜日 第4火曜日 10:00～16:00（ただし祝日、年末年始を除く）  
毎月 第2火曜日 第3水曜日 15:30～20:30（年始を除く）  
上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。  
予約電話番号 **03-5543-0653** \*託児付（要予約）

# T O P I C S

## 講演と映画のつどい

**講演** 『レオニー』に学ぶ、潔い生き方 講師 松井久子さん（映画監督）

**映画** 松井久子さん監督作品「レオニー」

7月7日（土）、中央区女性ネットワークと中央区との共催により日本橋社会教育会館ホールにて、今回で7回目となる「講演と映画のつどい」が開催されました。

これまでさまざまな女性の生き方を描いた作品を上映してまいりましたが、今回は世界的に有名な彫刻家、イサム・ノグチの母親であるアメリカ人女性レオニー・ギルモアの波乱に満ちた生涯を描いた作品『レオニー』を上映し、この作品の監督でいらっしゃる松井久子さんに講演をしていただきました。

レオニー・ギルモアは、100年前のアメリカと日本を舞台に、仕事に生き、日本人男性との恋に生き、そして日米の狭間で翻弄される運命を静かに受け入れ、母として、女性として潔く生き抜きました。その生き方は、「不幸な体験もプラスに転じて、自分が選んだ道を、顔を上げて生きる。」という松井さんの言葉にもあるように、まさに女性が少ない映画界で前向きに取り組んできた松井さんそのものの生き方だと思いました。

三田富貴子



▲講演をされる松井久子さん  
 ▲挨拶をする中央区女性ネットワーク三田富貴子会長



会場の様子▶

## スポーツの中の女性

▶8月のTVは、ロンドンオリンピック一色でした。スポーツが苦手で、ルールを知っている競技も少ない私でさえ、競技する選手たちの、記録に挑む緊張や闘志、競技後の喜びや悔しさなどさまざまな表情について引き込まれ、早朝・深夜のTV観戦で寝不足になったりしました。▶このロンドン大会でも、女性の活躍にはめざましいものがあり、これは、スポーツ界の女性のパイオニアたちの努力と挑戦の賜物です。近代オリンピックが始まった1896年には、そもそも女性の参加は認められていませんでしたし、その後、「招待」選手としての参加を経て、いくつかの競技に女性の種目が導入され、いま、ほとんどの種目に女性の競技があるようです。▶種目の拡大とともに、女性選手の参加率も上がってきました。2000年のシドニー大会では、参加199カ国のうち、27%の国で、男女半々の参加があったといわれ、いまは、全体では40%を超えています。ロンドン大会は、参加204の国・地域のすべてが女性選手を送っているという画期的大会だそうです。オリンピックの100数十年の歴史にも、男女共同参画の前進が見られるのですね。▶「それにしても、オリンピックで日本の女性はすごい、男性はだらしがないねえ」というのはたまたま乗ったタクシーの運転手さん（男性）のボヤキでした。（松川淳子）

## 館長

## 雑記

## 女性センター「ブーケ21」へ来てみませんか？

女性センター「ブーケ21」は、男女共同参画推進のための活動を支援し、一人ひとりが自分らしく輝くことができる中央区をめざす施設です。女性、男性、どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043  
 東京都中央区湊一丁目1番1号  
 電話番号 03-5543-0651  
 ホームページ  
<http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間  
 午前9時～午後9時  
 （12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く）

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線八丁堀駅下車  
 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」（深川車庫⇄東京駅八重洲口／豊洲駅・明石町経由）  
 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」鉄砲洲下車  
 徒歩3分

